

Xcode 16のハイライト

予測コード補完機能やより迅速になったプレビューを活用して、アイデアをコーディングで形にしましょう。明示的なモジュールを使えば、ビルドを飛躍的に向上させることができます。診断機能が強化され、アプリのパフォーマンスに関するより詳細な情報が得られるようになりました。さらに、新しいSwift Testingフレームワークでテストを簡単に作成できます。

予測コード補完

- 新しいコーディングモデルは、SwiftとApple SDK向けに特化してトレーニングされています。
- モデルはMac上のローカル環境で実行されるため、コードをプライベートに保持できるほか、オフラインでも実行できます。
- Xcodeにより、SDKと言語に関する最新の変更が自動的にダウンロードされ、モデルが更新されます。

Swift Assist

Swift Assist*は、コーディングに関する質問に自然言語で回答し、新しいAPIによるテストなどのタスクを支援します。

- Swift Assistは、Appleの最新のSDKとSwiftの言語機能に対応しています。
- クラウド上で実行される機能であり、プライバシーとセキュリティを念頭に置いて構築されています。
- デベロッパのコードが、サーバに保存されたり、Appleにより機械学習モデルのトレーニングに使用されたりすることはありません。

* Swift Assistは今年後半にリリース予定です。

Swift Testing

- 表現力に富んだAPIを使ってテストを簡単に作成でき、結果がコード内でインライン表示されるため、テストが失敗した箇所を簡単に確認できます。
- タグを使用して、指定した条件に基づいてテストを選択的に実行できます。
- #expectなどのマクロにより、複雑な数式をキャプチャできるほか、テストの失敗時に広範かつ詳細な情報が得られます。
- パラメータ化により、一連の値に対して同じテストを簡単に繰り返し実行できます。

その他の機能

- バックトレースの1つのビューに、すべてのスタックフレーム内の関連性のあるコードがまとめて表示されます。
- Instrumentsでプロファイリングデータの新しいフレームグラフにアクセスできます。
- ローカライズを支援する、文字列カタログの機能が強化されています。
- 明示的にビルドされたモジュールにより、ビルドのパフォーマンスと信頼性が向上します。